

牛久市通学区域審議会議事概要		日時	平成29年6月15日（木曜日）
件名	平成29年度第1回牛久市通学区域審議会	場所 時間	ひたち野リフレ 第1会議室 10:00～11:20
作成年月日	平成29年6月16日（金曜日）	作成者	教育総務課：安藤
出席者	<p>（出席委員） 須藤京子、助川勉、志賀英人、綿引良文、小林毅彦、市村昌紀、阿久津将裕、横田一郎、柳井秀之、青木重夫、永山勝広、原口隆男、榑 進、鈴木常夫、櫻井重夫、山越典夫、岩崎恒夫、岡野弘義、丸山清明、亀田忠夫</p> <p>（欠席委員） 長谷川安男、田中隆之、岡公之、茂木裕平、亀田祐樹</p> <p>（事務局） 教育長、教育部長、教育次長、教育総務課長、学校建設対策監、富田、安藤</p> <p>（傍聴者） 3名</p> <p style="text-align: right;">（順不同・敬称略）</p>		
議事内容	<p>（仮称）牛久市立ひたち野うしく中学校の通学区域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久市立下根中学校の生徒数の急激な増加に伴い、分離新設する（仮称）牛久市立ひたち野うしく中学校の通学区域について意見を求める。 		
会 議 内 容 等			
<p>〈会長・副会長選出〉</p> <p>通学区域審議会委員として、市議会議員より1名、学校長会より校長会長1名及び通学区域の関連校3校の校長3名、PTA役員より市PTA連絡協議会長及び関連校3校の代表の方、学識経験者の区分では地域のご意見をいただくために区長会から区長会長及び下根中学校区内の行政区長15名の計25名を選出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長に須藤京子委員を、副会長に長谷川安男委員を選出。 <p>〈諮問ほか〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会より牛久市通学区域審議会へ諮問。 <p>【諮問内容】</p> <p>（仮称）牛久市立ひたち野うしく中学校の通学区域について</p> <p>【諮問理由】</p> <p>牛久市立下根中学校の生徒数の急激な増加に伴い、分離新設する（仮称）牛久市立ひたち野うしく中学校の通学区域について意見を求めるものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須藤会長を議長に選出 ・柳井委員を会議録署名人に指名 <p>〈事務局説明〉</p> <p>【新中学校の基本設計の概要について事務局より説明】</p>			

- ・新中学校の場所は現在のひたち野うしく小北西の隣接地で合計面積 47,038.75 m²
- ・本校舎は木造・平屋建て。
- ・屋根付き広場、メディアライブラリー、ワークスペース、地域活動室等を設置。

〈質疑〉

- [委員からの意見] 普通教室間にあるワークスペースに緑を配置したり円卓・椅子を設置するなどして、生徒が休憩時間にのんびりと読書ができるような空間にしてほしい。
- [学校建設対策監] 現在進めている実施設計の中で検討していく。

〈事務局説明〉

【下根中通学区域の生徒数の現状と今後の推移について及び通学区域（素案）について説明】

- ・下根中通学区域生徒数は、現在住民登録のある子どもの数から推計して平成35年度にピークを迎える見込み。
- ・ひたち野うしく小学校区域内と中根小学校区域内のピーク時の学級数は、いずれも標準規模校（12～18学級）の範囲内に収まるとみられる。
- ・今回の中学校新設が下根中学校の分離新設であること、建設場所がひたち野うしく小学校とほぼ同じ位置であることから、事務局としては、ひたち野うしく小学校の通学区域をそのまま新設中学校の通学区域とすることが自然であると考え、これを素案又はたたき台として提案するのでご審議願いたい。

〈審議〉

- [委員からの意見] 現在のひたち野うしく小学校区において、ひたち野行政区は中根小学校とひたち野うしく小学校に分割されているが、小学校区の行事等で何か弊害はないのか。もし、弊害等なければ現行の小学校区をそのまま中学校区にすればいいと思う。

- [委員からの意見] ひたち野行政区では小学校区が分割されているが、特に問題点などは出てきていない。

- [委員からの意見] この前の建設検討委員会の際、ひたち野西行政区全戸を対象に新しい中学校に関するアンケートをとった。ひたち野うしく小学校ができた際、通学区域が中根小学校とひたち野うしく小学校に分離したため、兄弟で別の学校に行くのが嫌だということで、何年間か自由に選択できたと記憶している。今回、下根中学校からひたち野うしく中学校に分離するときにも希望をとってほしいという意見があった。

- [教育総務課長] 実際に分離するときにいる在学しているお子さんについては、意向を確認しながら弾力的にやっていきたい。

- [委員からの意見] 地域の交流を考えると、中根小学校は下根中学校、ひたち野うしく小学校はひたち野うしく中学校という単純な線引きでなくてもいいと思う。旧農村部と新しいひたち野地区との交流をどう考えているのか。また、ピークを越した後の将来的な箱物の活用方法をどう考えているのか。

- [教育総務課長] 新設中学校からの距離的な部分、通学路の安全といった中では現状の素案で安全が確保

されていると考える。また、現在神谷小学校の児童が一部牛久第一中学校と牛久南中学校に分かれて通っているが、できれば1つの小学校で1つの中学校に行った方が良いと考える。

[学校建設対策監] 現時点の推計では、H41年までは中学校以外に使用する計画は持っていない。遠い将来生徒数が減ってきた場合には、平屋にしておくことでどんな施設への転用も比較的容易にできると考える。また、各棟に引き戸を設置することで独立した施設として使用が可能という考え方で設計している。

[委員からの意見] 以前ひたち野うしく小学校ができた頃、中根小学校とひたち野うしく小学校の区域割りを議論した記憶では、子供たちの安全を最優先し、なるべく太い道路を基準に区域分けした方が良いという意見をもとに分けた記憶がある。なるべく子供たちが安全に通学できることを考えて、新設中学校もこういう区割り案になったのかと認識している。また、以前サンキ付近の団地の一部で、通学区域が中根小・岡田小、牛久二小に分かれていて兄弟で学校が選べる時期があったと記憶している。その場合は、いずれ子供たちが卒業していけばちゃんとした区割りになっていく。

[委員からの意見] 先程、地域の交流を考えると単純な線引きでなくても良いのではないかという質問をしましたが、地域に戻って区長として地域の皆さんに説明するにあたり、事務局素案の考え方を確認する意味での質問と捉えていただければと思います。

[会長] 以上の審議を踏まえて、事務局のたたき台で進めていってよろしいのでは、というのが皆様のご意見だと思う。次回は本日の審議内容を踏まえて、答申案についてご審議いただくという段階に進めたいと思うがいかがですか。

[出席委員] 異議なし（全会一致）

[会長] 加えて通学路の安全、地域との交流、兄弟間での学区相違への配慮について答申の中に盛り込みたいと思うので、会長・副会長で素案を取りまとめて、次回お示しするということでよろしいか。

[出席委員] 異議なし（全会一致）

〈事務局連絡〉

次回の審議会は7月14日（金）午後1時30分から、場所は牛久市役所本庁舎4階の第3会議室で予定しています。